



	オープン	建築面積 (㎡)	高さ (m)	アリーナ					
				面積 (㎡)	天井高 (m)	両翼 (m)	中央 (m)	客席フリースペース (㎡)	容積 (㎡)
東セラドーム大阪	1997.3	33,800	83.09	13,200	72.0	100	122	4.2	120万
東京ドーム	1988.3	46,755	56.19	13,000	61.69	100	122	4.0	124万
新横浜Yahoo! JAPANドーム	1993.4	69,130	84.00	13,500	68.0	100	122	5.8	176万
ナゴヤドーム	1997.3	48,257	66.90	13,400	84.0	100	122	4.8	125万
札幌ドーム	2001.8	55,168	68	14,460	63	100	122	5.75	158万

※過半数60%の賛成で通過

名称 京セラドーム大阪 (KYOCERA DOME OSAKA)	運営会社 株式会社大阪シティドーム
オープン 平成9年(1997年)3月1日	主な用途 プロ野球、各種スポーツ競技、コンサート、展示会、見本市、集会など
所在地 大阪市西区千代崎3丁目中2番1号	総事業費 696億円
	工事費 498億円



- 構造/地上9階・地下1階・高さ83m
- 建築面積/33,800㎡
- 延床面積/156,400㎡
- アリーナ/面積:13,200㎡(両翼:100m、中堅:122m)
- コンコース周囲距離/約600m
- 最大収容可能人数/55,000人
- プロ野球時最大席数/36,477席
- アリーナ容積/約120万㎡

総延長100mのエスカレーターやシースルーエレベーターの設置により、賑わい感を創出するとともに、周囲に圧迫感を感じさせない運動感溢れる外観にしています。

固定式屋根でありながら自然光が採り入れられるよう、直径76mの範囲にポリカーボネイトを使用しています。

ドーム外周にデッキを整備、歩車分離による交通の円滑化を図ります。

イベント空間と観客席の距離を最短化し、臨場感と一体感を醸成しています。

防煙・防火区画を十分に設け、安全性を確保しています。緊急時はデッキを利用して直接屋外に避難できます。

屋根部は鉄骨トラス相互を鉄鋼ジョイントで幾何学模様で構成された球面本体部と、それを支える剛性の高いY字型鉄骨で構成し、直径166.5m、ライズ42mの鉄骨ドームとしています。

[illegible]

平成2年7月
多目的ドーム建設検討委員会設置

平成4年1月
株式会社大阪シティドーム設立

平成5年6月
基本計画決定・設計着手

平成6年7月
建設工事起工

平成7年8月
名称を大阪ドームに決定

平成9年2月
大阪ドーム完成

平成9年3月
大阪ドームオープン

平成18年7月
ネーミングライツ・パートナーシップ
契約により、「大阪ドーム」から
新名称「京セラドーム大阪」に変更

**KYOCERA
DOME
OSAKA**

人と文化と情報が多次元に集積・交流する国際集客都市・大阪。
ウォーターフロントを中心にさらに魅力的なまちづくりが進められている大阪都心西部。
京セラドーム大阪は、この西部地区のユニークなランドマークとして1997年3月にオープン。
オリックス・バファローズのフランチャイズ球場として、またさまざまなイベントに
最高のステージを提供する場として、愛され、親しまれています。

スポーツ・文化の情報発信基地
京セラドーム大阪

<http://www.kyoceradome-osaka.jp>



株式会社大阪シティドーム

〒550-0023 大阪市西区千代崎3-中2-1 TEL.06-6586-0106 FAX.06-6584-7900

大迫力、変幻自在のエキサイティング空間。

アリーナは、イベント・コンサート・スポーツのそれぞれに最適な音響空間や光空間を提供します。
斬新な企画のイベント、エキサイティングなスポーツと、あらゆるシーンにフレキシブルに対応できるマルチドームです。



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	H	E	
東京	1	1	0	0						2	1	2
大阪	1	1	0	0						2	2	4

ドームビジョン(大型映像装置)
タテ8.6m×ヨコ30.7mの超ワイドサイズのドームビジョンが、アリーナの感動と興奮をさらに増幅させます。フル画面の迫力あるビジュアル演出、画面分割によるマルチ利用やスコアボード表示など、多目的な演出が行え、場内を多彩にダイナミックに盛り上げます。

人工芝
芝のバイルの間に砂・ゴムチップが埋め込まれている天然芝に近いタイプの人工芝。野球だけでなくサッカー・アメリカンフットボール・ラグビーなど、各種スポーツ競技に使用できます。



環境に配慮した設備・構造

座席空調システム

バックネット裏下段観客席には、個々に空調の方向が調節できるパーソナル空調を設置。さらにアリーナの分割利用やイベントごとの使用パターンを考慮し、快適性・省エネルギー性・経済性に優れた最新の空調システムを採用しています。例えば座席個々の段床部から前方の座席の背もたれに沿って空調空気が吹き出る「座席空調システム」や赤外線カメラを利用して着席部分に空気を送る「局所空調」など、省エネルギー化を実現しています。

自然換気方式

京セラドーム大阪は大阪湾から約5kmの河口部に位置するため、強い海風が吹く立地条件にあります。この海風を利用して、ドーム屋根の頂上部に換気口(エアムーバー)を設け、風向きによって開口位置を変え、風の吸引効果でアリーナの自然換気を行っています。

雨水の再利用

ドームの屋根面積は約31,400㎡あり、汚れの少ない良質の雨水を大量に回収することが可能です。そこで、水資源の有効利用をはかるため、地下1階の床下ピット内に雨水貯留槽1,700㎡を設け、塩素注入等の雨水処理を行い、トイレや植栽水に利用する設備を設けています。これにより、年間水使用量の約20%を賄っています。

京セラドーム大阪には、他にもこんな楽しみ方あります!



フロア案内

- 9F スカイホール(貸し会場)
- 8F ビスタルーム(特別観覧室)/スポーツ団体事務所
- 7F ビスタルーム(特別観覧室)/スポーツ団体事務所
- 6F ビスタルーム(特別観覧室)/記者席/放送室
- 5F 上段席/コンコース/売店
- 4F 観客席/コンコース
- 3F 下段席/コンコース/売店
- 2F グリンドムモール(レストラン・ショップ街)/WOA(アジア・オセアニア地域事務所)
- 1F アリーナ/スポーツ関連連立イベント関連連立
- B1F 事務所/防災センター/駐車場

スカイホール 9F



ユニークな形をしたスカイホール。小規模イベント用の貸し会場です。

ビスタルーム 8F 7F 6F



アリーナを一望できる特別観覧室です。ゆったりとしたバルコニー席と連続されたリビングルームでプロ野球をご観覧いただけます。(年間契約)

コンコース/売店 3F 5F



イベント時(一部を除く)は売店にておつまみ等の軽食からお腹いっぱいメニューまで多彩な飲食物を取りそろえています。

楽しみも多彩な複合レジャー施設

グリンドムモール 2F

大阪市スポーツギャラリー
有名選手のユニフォームやシューズ、スポーツ用品や図書などを展示。スポーツ体験コーナーなどもあります。

スーベニアショップ グリンドム サック
日本プロ野球全12球団グッズ、メジャーリーググッズ、お土産などを豊富に取りそろえています。

手型コレクション
京セラドーム大阪を舞台に大きな感動を残していたアーティストやスポーツ選手たちの手型を展示しています。

観戦レストラン
アリーナを一望しながら食事を楽しめる施設も充実しています。

訪れる人すべてにやさしいサポート・サービス

インフォメーションセンター 2F
京セラドーム大阪内の施設案内や迷子、落とし物など、来場者の相談に対応します。

おむつ替えルーム(無料)
おむつ替えのためのベビーカーコーナーで、洗面所や粉ミルクのためのお湯も用意しています。男性の方も利用できます。

ウイメンズサロン(無料)
シャampooレッサー、パウダーコーナー、髪替えや授乳に利用できる9つのブースを完備した女性専用の施設です。

AED(自動体外起震器)設置
急に心臓が停止した際に電気ショックを行うことができるAED(自動体外起震器)を設置しています。

ベビースペース付トイレ
赤ちゃんを連れの方が安心して快適に利用できるおむつ替え用スペースを設けています。

車イス用エレベーター
赤ちゃんや子供連れの方、車いす利用の方など、京セラドーム大阪を訪れる人すべてが快適に過ごせるよう、バリアフリー対応しています。